

**KKR およびシンガポール・テレコム（Singtel）率いるコンソーシアム、
138 億 SGD の企業価値で ST Telemedia Global Data Centres を完全買収へ
～東南アジアにおけるデジタルインフラ最大級の取引～**

2026 年 2 月 4 日 シンガポール発 — 国際的投資会社である KKR と、アジアを代表する通信技術グループである Singtel、さらに ST Telemedia は本日、KKR および Singtel が運用するファンド（以下「コンソーシアム」）が、ST Telemedia の創業株主である ST Telemedia（以下「STT」）から、ST Telemedia Global Data Centres（以下「STT GDC」または「当社」）の残り 82% の持分を総額 66 億シンガポールドル（約 51 億米ドル）で取得（以下「本取引」）する最終契約を締結したと発表しました。本取引は、レバレッジおよびコミット済み案件の設備投資額を含め、企業価値約 138 億シンガポールドル（約 109 億米ドル）と見込まれます。

本取引完了後、KKR と Singtel の持分比率は、既存の優先株の転換を踏まえ、それぞれ 75% と 25% となる予定です。

コンソーシアムは 2024 年、優先株およびワラントを通じて 17.5 億シンガポールドル（約 13 億米ドル）を STT GDC に出資しており、これは当時、東南アジアで最大規模のデジタルインフラ投資となりました。

その後、同社の開発パイプラインは 2024 年の 1.4GW から 1.7GW 超へ拡大しています。

2014 年に ST Telemedia によって設立され、シンガポールに本社を置く STT GDC は、アジア太平洋、英国および欧州の 12 市場において**総設計容量 2.3GW**を持つ、世界で最も成長著しく多角化されたデータセンタープラットフォームの 1 つです。同社は、高品質なコロケーションや接続性、24 時間 365 日のサポートなど、重要なデータセンターサービスを提供しています。AI やクラウドの需要の加速に伴い、これらの高度なワークロードを支えるデータセンターの必要性は急速に拡大しています。

主要関係者コメント

KKR アジア太平洋共同代表兼アジア太平洋インフラ統括

デイビッド・ルボフ

「クラウドコンピューティングやデータ活用型アプリケーションの進化により、デジタルが生まれ出され、保存され、処理される方法は劇的に変化しており、デジタルインフラは長期的に極めて魅力的な投資テーマです。

STT GDC は、地域に跨る多様な拠点、力強い開発パイプライン、そしてグローバル展開への明確なビジョンを持つリーダーシップチームにより、この分野で非常に優れたポジションにあります。本取引は、同社のさらなる成長を支援し、Singtel との戦略的パートナーシップを深める貴重な機会です。」

Singtel グループ CFO

アーサー・ラン

「今回の買収は、当社が掲げる『Singtel28』成長計画の中核であるデジタルインフラ事業を大きく拡大する重要な一歩です。STT GDC の幅広い地域展開により、当社は新たな市場機会に触れると同時に、グローバルデータセンタープレーヤーとしての存在感を強化することができます。

KKR と共同で出資する Nxera を含む当社の DC 資産と合わせることで、資本効率を高めつつ成長の機会を広げ、Singtel グループの事業構成は大きく変わることになります。」

ST Telemedia プレジデント兼グループ CEO

スティーブン・ミラー

「ST Telemedia は 12 年前に STT GDC を設立し、アジア太平洋をけん引するデータセンタープラットフォームを構築してきました。市場の急成長に伴い、次のステージにはより大規模で専門性の高い資本が必要となっています。今回の本取引は、当社が長期的視点から担ってきた戦略的役割を示すとともに、STT GDC が今後も持続的に成長するための最適な環境を整えるものです。」

STT GDC プレジデント兼グループ CEO

ブルーノ・ロペス

「本日の発表は、当社の次なる成長フェーズに向けて非常にエキサイティングな節目となります。KKR と Singtel による新たな投資は、当社の事業品質と成長軌道への強い信頼を示すものであり、クラウドおよび AI 需要の次の波を捉えるべく、当社の成長をさらに加速します。」

取引完了時期および背景

本取引は、規制承認などの慣例的な条件を満たした上で、**2026 年後半の初め**までに完了する見通しです。

コンソーシアム概要

KKR は、この投資を主にアジア太平洋インフラ戦略から実行。

同社の同地域およびグローバルでのデジタルインフラ投資には、Nxera、Pinnacle Towers、OMS Group、CyrusOne などが含まれます。

Singtel は、接続性・デジタルサービス・デジタルインフラの主要プロバイダーであり、データセンターはその中核事業の一つ。2023 年には、KKR が Nxera の 20% を取得しており、同社の運用容量は 2026 年の 200MW 超から、中期的に **400MW 超へ倍増**する見込みです。

本リリースは、STT GDC が 2026 年 2 月 4 日に発表したニュースリリースを日本語に翻訳したものです。原文は[英文ニュースリリース](#)をご参照ください。本リリースの正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。